家庭血圧に基づいた血圧感受性遺伝子の解析のお知らせ

帝京大学医学部では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間: 2015 年 9 月 8 日 ～ 2030 年 3 月 31 日

〔研究課題〕 家庭血圧に基づいた血圧感受性遺伝子の解析: HOMED-BP-GENE 研究

〔研究目的〕 近年、遺伝子解析はめざましい進歩を遂げていますが、高血圧の遺伝的背景はまだ十分には解明されていません。また、血圧値は測定環境の影響を受けやすく、従来の解析で用いられてきた外来・健診時随時血圧は、必ずしも個人の真の血圧を反映する訳ではありません。そこで本研究では、精度良く個人の血圧を評価できる家庭血圧を用いて、血圧絶対値、血圧変動、降圧効果等に関連する遺伝子の探索を行います。

〔研究意義〕 さまざまな降圧薬のうち、どの薬を使うことで治療の効果が一層高まるかを、患者さん一人一人について選択する大きな根拠になることが期待されます。

〔対象・研究方法〕 対象は、日本全国の、家庭血圧に基づいた無作為化比較試験 (HOMED-BP 研究)の対象患者のうち、2005 年～2008 年の間に文書による遺伝子解析に関する同意を得た約 350 名です。未治療あるいは降圧薬を服用しない状態で 2 週間以上観察した後、3 群の降圧薬 (ACE 阻害薬, Ca 拮抗薬, アンジオテンシンⅡ拮抗薬)の単剤・常用量投与にランダムに割り振り、降圧薬による血圧低下の程度を、家庭血圧に基づいて評価しました。

〔研究機関名〕 帝京大学、オックスフォード大学

〔個人情報の取り扱い〕 本研究は「ヘルシンキ宣言に基づく倫理的原則」および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り行われます。帝京大学は個人情報が識別されない形で、臨床情報 (血圧など)ならびに遺伝子情報を保有し、管理します。解析されたデータは厳重に管理されます。帝京大学からオックスフォード大学には、個人が識別されない形でデータが帝京大学より直接提供されます。提供先においてもデータは厳重に管理されます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 大久保 孝義 (帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座・主任教授)
研究分担者: 浅山 敬(帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座・教授)
菊谷 昌浩(帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座・教授)
住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211(代表) 〔内線 46210〕